会　議　記　録　（1）

会議名称	令和３年度　第２回北本市男女共同参画審議会
開会及び 閉会日時	書面会議による開催 令和４年２月１６日（水）　資料発送 令和４年３月　２日（水）　意見書受領
開催場所	書面会議による開催
議長氏名	会長　吉野　道子
出　　席 委員(者) 氏　　名	望月聡子、鈴木洋子、小川千尋、吉住武雄、中原和洋、峯尾敏之、竹越典子、青木みどり、吉野道子、飯野誠治、高梨光美、峯川美春
欠　　席 委員(者) 氏　　名	なし
説明者の 職 氏 名	なし
事務局 職員 職氏名	人権推進課　課長　坂詰和子、主幹　大澤英雅、主査　堀江智史
会議次第	議題 ⑴　第六次男女行動計画の策定に伴う男女共同参画に関する調査の結果について ⑵　今後のスケジュールについて
配布資料	・ 資料１　令和３年度第２回北本市男女共同参画審議会概要説明資料 ・ 資料２　北本市男女共同参画に関する意識・実態調査報告書【概要版】 ・ 資料３　北本市男女共同参画に関する意識・実態調査報告書 ・ 資料４　第六次男女行動計画策定事業スケジュール ・ 書面会議意見書

会　議　記　録　（２）

書面会議による 意見及び回答	別添「第２回男女共同参画審議会書面会議　意見及び対応内容等」による。

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和４年３月４日　　会長　吉野道子

第２回男女共同参画審議会書面会議　意見及び対応内容等

議題⑴　第六次男女行動計画の策定に伴う男女共同参画に関する調査の結果について

■北本市男女共同参画に関する意識・実態調査報告書【概要版】について

該当箇所	委員からの意見	意見に対する回答又は対応等
	意見なし	

■北本市男女共同参画に関する意識・実態調査報告書について

該当箇所	委員からの意見	意見に対する回答又は対応等
Ⅱ　市民意識・実態調査 １．回答者の属性 （３）職業 【P. 13】	職業ではなく、雇用形態についての質問になっていると考える。	本設問の質問文及び回答の選択肢については、前回調査及び埼玉県の「男女共同参画に関する意識・実態調査」に準じています。
４．ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について （１）ワーク・ライフ・バランスの理想と現実 【P. 90】	バランスについての設問なのに、優先度を聞くのは意味が違うと思う。比重を数値で回答するなどの工夫が必要だったのではないか。優先しているという回答には優先せざるを得ないケースも含まれていると考えられるので、設問として不十分であると感じる。	本設問の質問文及び回答の選択肢については、内閣府の「男女共同参画社会に関する世論調査」に準じています。 見出しの表記及び設問の設計等については、次回調査の検討事項とします。

該当箇所	委員からの意見	意見に対する回答又は対応等
3. 防災・災害対応における男女共同参画について 【P.133】	もっと自治会や学校等で訓練の計画をしていただきたい。	防災訓練は北本市地域防災計画に基づき、自治会（自主防災組織）及び学校等と連携して毎年１回実施することとされています。男女双方の視点に配慮した防災対策を進めるため、防災に関する政策及び方針決定過程並びに災害現場における女性の参画を拡大する等、男女共同参画の視点を踏まえた防災対策を関係部署と連携し推進していきます。
全般	市民意識・実態調査及び事業者アンケート調査ともに、割合などの事実のみが記載されており、考察がない。詳細を調べただけで検討や分析がない。	「Ⅵ　調査結果のまとめ」の各節の破線枠内に、考察等を記載しております。
全般	調査票そのものが、全体的にジェンダーギャップ指数が低い印象を受ける。設問と回答の随所に先入観や固定観念に基づいた言い回しがみられ、違和感を覚えた。	文言の表現等については、次回調査の検討事項とします。
その他	１０～３０代の回答者数が少ないので、保育所及び学童保育室を利用する保護者に対して要望や問題点等を尋ねる調査を実施すれば、改善点等を把握することができるとともに、保護者が男女共同参画に対して前向きな意識を持つことができるのではないか。	就学前児童及び小学生の保護者を対象とした「北本市子ども・子育て支援ニーズ調査」の結果を参考にして、男女共同参画の推進に取り組んでいきます。
その他	昔と違って女性の意見も随分と取り入れられるようになった。若い人たちがもっと自分たちの感じることを表に出して、行政や国にアピールしていただけるよう頑張ってほしいと思う。	今後の業務の参考とさせていただきます。

議題(2)　今後のスケジュールについて

該当箇所	委員からの意見	意見に対する回答又は対応等
	意見なし	